

5月10日 日向灘の地震

5月10日08時48分に、日向灘でM6.3の地震(深さ25km、最大震度5弱、今回の地震①)が発生した。この地震の発生前の同日07時43分にほぼ同じ場所でM5.6の地震(深さ25km、最大震度3、今回の地震②)が発生した。これらの地震は、いずれも発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。07時43分の地震発生以降、付近でややまとまった活動となっている。

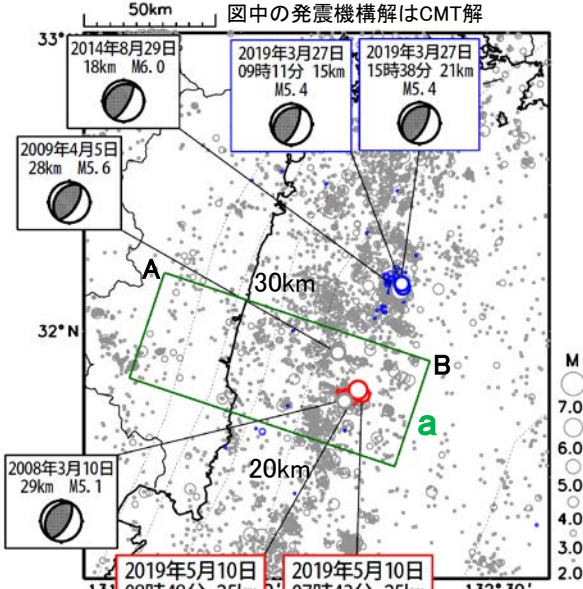
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b内)は、定常的に地震活動が見られ、2009年4月5日にM5.6の地震(最大震度4)が発生した。日向灘では、2019年3月27日にM5.4の地震が2回発生したが、今回の地震は、3月27日の地震とは異なる場所で発生した。

1922年以降の日向灘の地震活動を見ると、M5.0以上の地震はしばしば発生している。M6.5以上の地震も時々発生しているが、1997年以降は発生していない。M6.0以上の地震が発生したのは、2014年8月29日のM6.0の地震(最大震度4)以来であった。

震央分布図

(1997年10月1日～2019年5月10日09時、M \geq 2.0、深さ0～80km)

青:2019年3月27日～5月9日、赤:5月10日



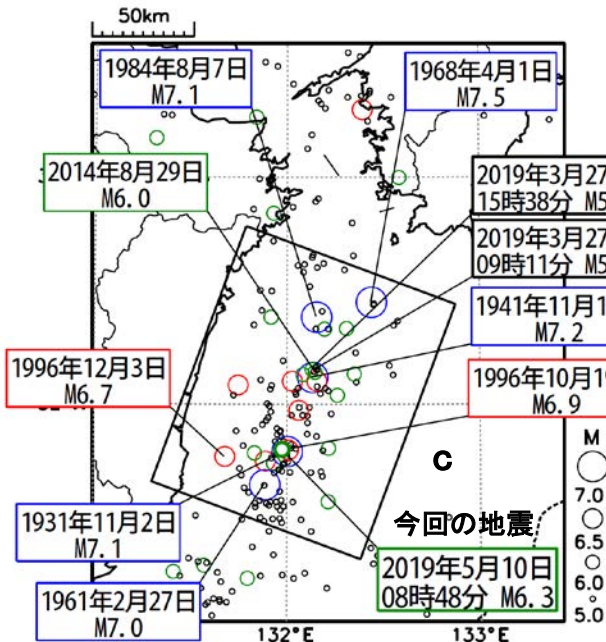
今回の地震① 今回の地震②

※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

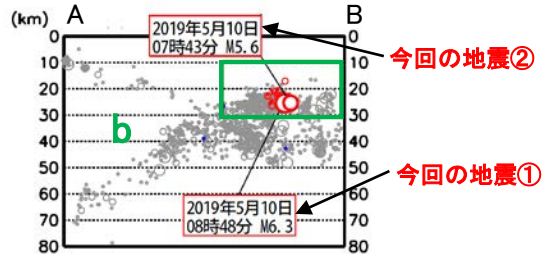
震央分布図

(1922年1月1日～2019年5月10日09時、M \geq 5.0、深さ0～100km)

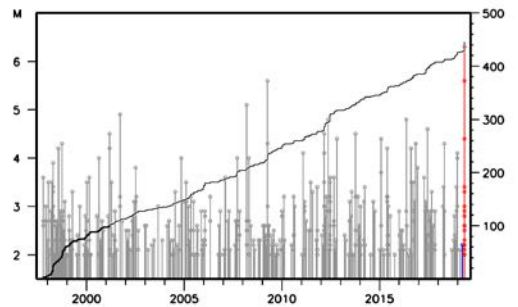
黒:5.0 \leq M<6.0、緑:6.0 \leq M<6.5、赤:6.5 \leq M<7.0、青:7.0 \leq M



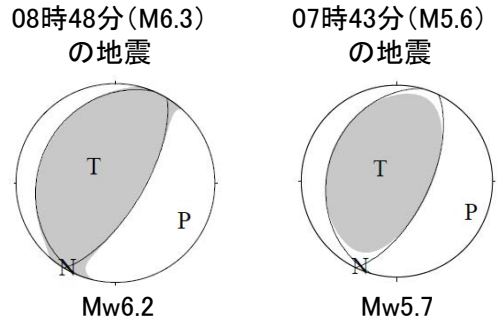
領域a内の断面図(AB投影)



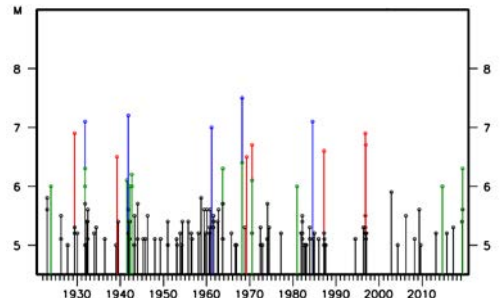
領域b内のM-T図及び回数積算図



今回の地震の発震機構解(CMT解)



領域c内のM-T図



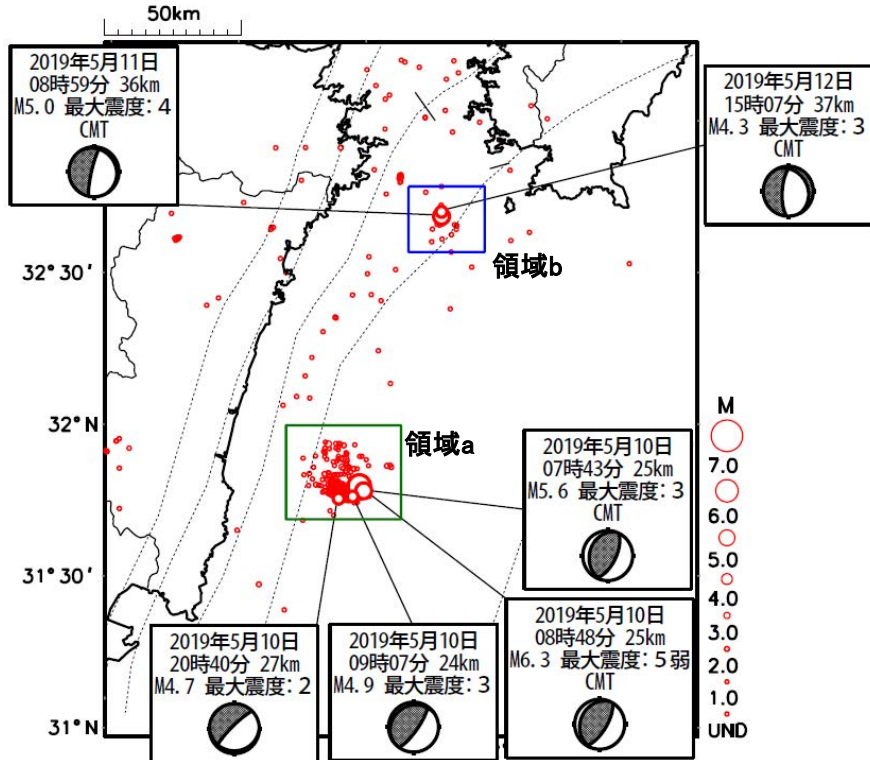
※M7.0以上の地震、1990年以降に発生したM6.0以上の地震、2019年の地震(今回の地震は最大規模の地震)に吹き出しを付加している。

※5月9日以降の地震の震源要素、今回の地震の発震機構解は今後の精査で変更する場合がある。

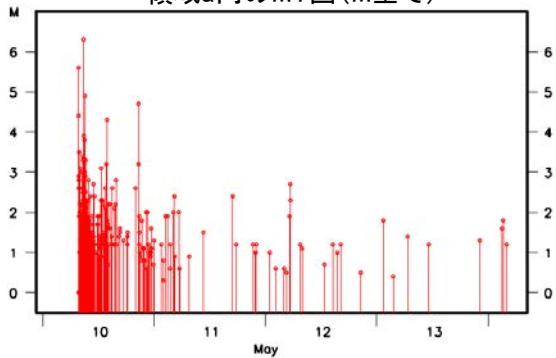
5月10日、5月11日の日向灘の地震発生前後の地震活動の状況

震央分布図

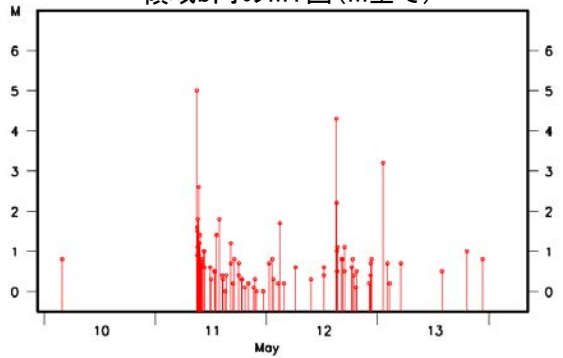
(2019年5月10日00時~2019年5月14日07時、M全て、深さ0~60km)



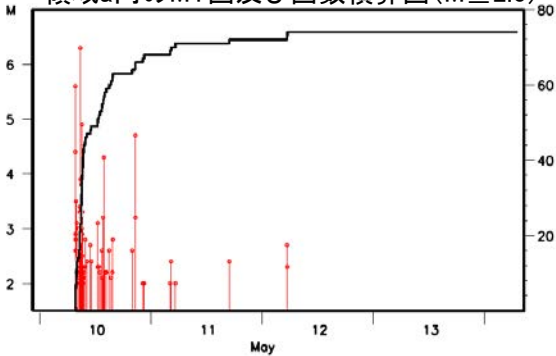
領域a内のMT図 (M全て)



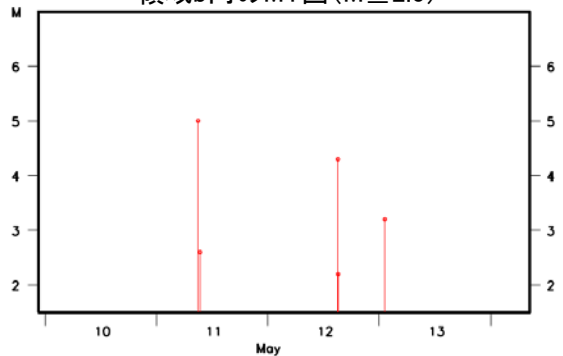
領域b内のMT図 (M全て)



領域a内のMT図及び回数積算図 (M≥2.0)



領域b内のMT図 (M≥2.0)



<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、5月14日の震源は、自動処理による結果です。
- ・自動処理の結果には、発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。
- ・5月13日以降の地震の震源要素は、今後の精査で変更する場合があります。